

基本目標・数値目標

「基本目標」の実現に向けて、取組みの方向性に沿って実現に向けた施策を展開します。

1. みんなが豊か!

宇土市における
安定した雇用を創出する

小売業年間商品販売額
297億円

2. みんなが住みたい!

宇土市への
新しい人の流れをつくる

平成31年度までの5年間で
200人の社会増

3. みんなで育む!

若い世代の結婚・出産・
子育ての希望を叶える

合計特殊出生率1.7

4. みんなで実現!

時代に合った地域をつくり、
安心な暮らしを守る

新築家屋の建築棟数
134棟

実現に向けた施策

(ア)「熊本うと」の資源を活かした農業・漁業・商業の振興

- ①「熊本うとブランド」の確立と販路拡大
- ②歴史・文化を活かした中心市街地の活性化

(イ)雇用創出、担い手の育成・確保

- ①農林水産業を支える担い手の育成・確保
- ②創業支援、雇用対策支援

(ウ)「熊本うと」で安心して働ける経営基盤の安定化

- ①農林水産業の経営基盤の整備
- ②中小企業の経営基盤強化・安定化支援

(ア)「熊本うと」が移住希望者に選ばれるための取組み

- ①定住移住応援事業の実施
- ②既存ストックのマネジメント強化

(イ)「点から線、線から面へ」観光資源をネットワーク化した交流拡大

- ①地域観光資源、地元人材を活用した取組み

(ウ)「熊本うと」の知名度向上を目指したPR

- ①効果的・積極的な内外への情報発信
- ②「選ばれるまち」を意識した双方向性の魅力発信

(ア)結婚から出産・子育てまで切れ目ない支援

- ①若者定住促進のための婚活支援
- ②母子保健事業の充実

(イ)うとっ子のゆたかな心と元気な体を育むための取組み

- ①子育て支援体制の整備
- ②子育て世代への経済的な支援充実

(ウ)3つの「きょういく」を柱とした教育の推進

- ①全国にアピールできる教育環境の整備
- ②就学支援の充実

(ア)「熊本うと」+α ～弱さを補い、魅力を高める連携の推進～

- ①「熊本うと」+熊本市 ★連携強化とベッドタウン機能強化
- ②「熊本うと」+各種団体 ★広域・産官学金労言の連携

(イ)快適・便利、「熊本うと」に人が集まる環境づくり

- ①住居等への支援及び居住環境の整備
- ②安全な交通環境の整備
- ③宇土市の玄関口づくり

(ウ)みんながつながり支えあう「熊本うと」の絆づくり

- ①地域や市民が行うまちづくりの支援
- ②市民ボランティアや企業の協力・アイデアを活かす

具体的な施策ごとに「重要業績評価指標(KPI)」を設定します。

具体的な取組み(事業)

- ◆旬を届ける実行協議会補助事業
- ◆地産地消・食育推進事業 ◆水産加工物しごと支援事業
- ◆中心市街地活性化事業 ◆シルバー元気応援ショップ認定
- ◆地域しごと(商業)育成・支援事業

- ◆農業経営アドバイザーの活用
- ◆青年就農給付金事業 ◆漁業後継者クラブ育成補助事業
- ◆店舗改装・新規創業支援事業 ◆雇用促進奨励金

- ◆法人化、担い手農家等への農地集積による経営規模拡大支援
- ◆特定漁港漁場整備事業 ◆アサリ貝等資源回復事業
- ◆中小企業者に対する各融資事業

- ◆定住移住応援事業(総称)
- ◆空き家バンク事業 ◆特定空家対策等の検討

- ◆観光PRアドバイザーの活用 ◆フットパス事業
- ◆天草・宇土半島地域広域連携事業
- ◆西部地区観光資源活性化事業

- ◆ウェブアクセシビリティの維持向上 ◆デタポンの活用
- ◆シティセールスの拡充 ◆SNSの拡充
- ◆移住・定住フェアへの参加

- ◆婚活支援事業 ◆不妊治療費助成事業

- ◆子ども・子育て支援事業 ◆保育事業の充実
- ◆放課後児童クラブ新規設置事業 ◆産前・産後応援事業
- ◆公立幼稚園での一時預かり保育 ◆乳幼児・子ども医療費助成

- ◆小規模特認校制度 ◆小中一貫教育 ※中高一貫教育
- ◆発達障がいのある子供を持つ保護者支援事業
- ◆放課後子ども教室支援事業 ◆「そろばんの時間」の実施
- ◆副教材費助成 ◆多子世帯給食費助成

- ◆連携中枢都市圏事業
- ◆九州財務局、崇城大学との連携協定事業
- ◆地域・各団体との連携事業 ◆スクラムチャレンジ事業

- ◆まちづくり基本調査事業 ◆民間宅地開発事業の誘導
- ◆住宅リフォーム助成事業 ◆交通安全対策事業
- ◆ゾーン30区域の整備 ◆交通指導事業
- ◆企業誘致アドバイザーの活用 ◆企業誘致・企業支援活動
- ◆宇土駅周辺地区整備事業 ◆ICT基盤整備の推進

- ◆まちづくり基金助成 ◆NPO法人設立支援
- ◆地域おこし協力隊の活用 ◆ゼロ予算事業